2014年度関西学生バスケットボールリーグ戦

男子　　２次リーグ戦

試合日	2014.09.28
開始時間	12.40.00
会場	近畿大学記念会館
コート	Ｍ コート
試合ＮＯ	147

勝チーム			敗チーム
立命館大学	75	16 － 20 16 － 16 31 － 13 12 － 22	71	大阪産業大学
勝ち点　4			勝ち点　0

戦評

総括、下位リーグ1戦目の戦い。1部リーグ10位の大阪産業大学と6位の立命館大学とのカード。入れ替え戦を何としてでも避けたい両チームは観客席も白熱した応援で一身一体となってコートの選手を後押し、勝利を願っている。コート上の選手は序盤から点の取り合いになり、さらに盛り上がりを見せる。10点差の中で流れが大産大に向いたと思われたが、前半終盤に立命館が意地を見せる。立命館が3Pシュートやバスケットカウントからのフリースローをきっちり決め一気に4点差まで追い上げ勝敗を分からなくし、前半終了。後半は前半と同様、点の取り合いとなり接戦が続くが、第3ピリオド終了で大産大リードを逆転した立命館が一気に12点差とした。しかし、第4ピリオドが始まり両チームとも得点を重ねるものの、このまま点差が縮まらないと思われたが、大産大＃45金を中心に得点を重ね2点差まで詰め寄ったものの、あと一歩のところで立命館が75-71で勝利する。

第1ピリオド、大産大ボールから始まり、立命館＃41櫻庭がローポストからのステップインで先制した。大産大も＃12玉井がローポストからの得点し、さらに＃19広倉のジャンプシュートでやり返す。そのまま大産大はオールコートマンツーマンで流れを掴もうとする。大産大のディフェンスに苦しみながらも＃0福原がタフショットを決め、＃33竹村のスティールからのワンマン速攻でハイペースな点の取り合いとなる。第1ピリオド終了間際に大産大のジャンプシュートやバスケットカウントを取り確実にフリースローを決めるなどの盛り上がりを見せ20-16で大産大が4点リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、立命館ボールから試合スタート。なかなか両チームとも得点が入らないが、立命館がバランス良く点を取り始め逆転に成功した。しかし大産大も＃1小幡がトップから3Pシュートを決め返し、両チーム共にどちらにも流れが傾かず点の取り合いが続く。そんな中、大産大は粘り強いディフェンスとリバウンドをきっちり取り、速いテンポでシュートを打ち続けたことで徐々にシュートが入り始めた。この流れを止めるべく立命館が前半2回目のタイムアウトを取るが、大産大の勢いは止まらない。相手のフリースローからでも常にカウンターを狙うため、とにかく全員が走り得点に繋げる。前半終了間際に立命館＃00上田の3Pシュートと、＃25立野のブザービーターともいえるようなドライブからバスケットカウントを取り、意地のエンドワンで一気に6点を縮めゲームの勝敗を分からなくし36-32で大産大がリードで前半終了。

第3ピリオド立命館ボールからスタート。前半同様、大産大のハイペースなオフェンスは止まらず開始からドライブからフリースローをもらい。さらには大産大＃45金が3Pシュートを2本決めるなどとにかく攻め続けた。立命館も負けてはいない。立命館＃33竹村の3Pシュートと＃00上田の3Pシュート2本で一気に追いつく。さらに＃00上田がアンスポーツマンライクファウルをもらい、フリースローを2本とも沈め、チーム全体の勢いが増した。
ここで大産大は4点のリードを許してしまう。立命館＃25立野が攻守共に覇気のあるプレーでバスケットカウントやディフェンスリバウンドでファウルをもらい、大産大はファウルがたまっているためフリースローを与えてしまうなどで、立命館ペースになってきた。ここから立命館の勢いは止まらず速攻などでどんどん得点を重ねていき63-49で立命館が14点のリードを奪い第3ピリオド終了。最終ピリオドへ。

第4ピリオド、立命館ボールからスタート。両チームとも得点するものの点差は簡単には縮まらない。大産大はオールコートマンツーマンで逆転を図る。しかし、＃33竹村の華麗なドリブルさばきで大産大のデフェンスを翻弄する。11点差となったところで大産大がタイムアウトを要求する。大産大のフォワード陣が3Pシュートを打つがなかなか入らない。その落ちたボールを大産大＃0が執念のリバウンドをもぎ取るなどでチームを鼓舞し、大産大＃45が3Pシュートを決め、6点差に詰め寄る。さらに＃1からの絶妙なアシストで＃23が得点し4点差。立命館＃00上田がファウルをもらいフリースローを1本決め5点差と引き離す。両チーム共チームファウルがたまっていることによりファウルをもらい大産大＃45金がフリースローを2本決め残り2分でいよいよ3点差にする。そこから攻防が続き10秒で2点差、立命館リードで立命館＃33竹村がフリースローを2本とも決め4点リードとなったところで試合終了。最後は75-71でどちらが勝ってもおかしくない戦いであった。

主審	堂國　和昭	副審	生島　匡	戦評	相賀 一希(天理大)
		記録	関西学生バスケットボール連盟		

立命館大学

No.	S	選手名	PTS	３Ｐ 成功	３Ｐ 試投	２Ｐ 成功	２Ｐ 試投	ＦＴ 成功	ＦＴ 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
0	*	上田 雅也	23	4	9	4	10	3	4	1	0	3	3	2	1	1	0	38
25	*	立野 俊史	18	0	0	6	14	6	8	4	6	8	14	5	2	1	1	35
33	*	竹村 蓮	15	1	2	5	9	2	2	3	2	1	3	4	4	1	1	36
35	*	福永 雅刀	8	0	0	4	10	0	0	3	3	3	6	3	1	0	3	29
41	*	櫻庭 朋久	8	0	0	4	9	0	0	3	5	4	9	2	1	1	2	35
14		吉田 諒介	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20		古倉 勇人	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	10
23		原田 祥伍	3	0	0	0	3	3	4	1	0	3	3	1	0	0	0	12
34		阿部 直道	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Team / Coach:		浅村　典正								0	1	3	4	1				
合計			75	5	12	23	56	14	18	18	16	22	38	17	9	4	7	200
			RATE	41.7%		41.1%		77.8%										

大阪産業大学

No.	S	選手名	PTS	３Ｐ 成功	３Ｐ 試投	２Ｐ 成功	２Ｐ 試投	ＦＴ 成功	ＦＴ 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
0	*	福原 康司	10	0	0	4	5	2	3	3	3	2	5	1	1	0	2	35
1	*	小幡 雄大	15	1	11	3	11	6	6	3	1	0	1	0	1	0	0	29
12	*	玉井 和尭	2	0	0	1	2	0	0	4	1	2	3	0	0	1	1	10
19	*	広倉 武成	4	0	1	2	5	0	0	1	1	1	2	3	3	2	0	22
45	*	金 ミンジェ	21	5	8	1	4	4	6	3	1	4	5	1	0	0	1	28
10		田中 広希	2	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
22		木全 洋介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
23		辻 康平	5	1	2	1	3	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	14
26		宮武 和輝	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	1	2
27		佐々木 喬行	6	1	3	1	6	1	4	0	0	0	0	0	1	2	0	15
34		藤井 祐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
35		和田 幸平	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	7
75		伊東 瞬	6	0	2	2	8	2	2	2	1	1	2	2	0	0	1	21
88		花田 英次	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
			－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
Team / Coach:		露口　亮太	－							0	0	1	1	0				

合　　計	71	8	27	16	48	15	21	21	9	11	20	8	7	7	6	200
	RATE	29.6%		33.3%		71.4%										